

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Team Happiness メディカルケア kids lab.		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年2月10日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種による支援体制が整っている	保育士・児童指導員に加え、看護師や理学療法士等の多職種が連携しながら支援を行っている。医療的ケアが必要な児童を含め、子ども一人ひとりの健康状態や発達状況に応じて安全面に配慮した支援を提供している。また、日々の様子を職員間で共有しながら、多角的な視点で支援方法を検討している。	今後も多職種間での情報共有を継続し、子どもの発達や健康状態の応じた支援方法の検討を行うとともに、研修等を通して専門性の向上に努める。
2	活動内容の多様性	室内活動だけではなく外出活動や季節行事等を取り入れ、子どもが様々な経験を通して社会性や興味関心を広げられるような活動内容を工夫している。クリスマス会などの季節行事も取り入れ、楽しみながら参加できる機会を設けている。	子どもの発達段階や興味関心を踏まえながら活動内容を検討し、活動が固定化しないように工夫するとともに、子どもが安心して参加できる環境づくりを継続していく。
3	個々の発達に応じた支援	児童発達支援計画に基づき、子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行っている。医療的ケアが必要な児童とそうでない児童の双方を受け入れ、それぞれの状況に応じて無理のない活動や支援内容を検討しながら支援を実施している。	職員間での日々の様子を共有しながら支援内容の見直しを行い、子どもの成長や変化に応じた支援を継続的に進めるよう努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域関係機関との交流や地域の子どもの交流機会については十分とは言えないため、今後の検討課題である。	地域の保育所・幼稚園等との交流機会については、感染症対策や日々の支援活動を優先していることもあり、十分な機会の確保に至っていない。	今後は地域の関係機関との情報共有や連携を図りながら、可能な範囲で交流機会の検討を行う。
2	・研修やスーパーバイズ等、専門性向上の機会については、継続的な参加機会の確保が課題となっている。	研修や助言を受ける機会の確保に努めているが、天候等の影響により参加できない場合があり、十分な機会の確保が難しい場合がある。	今後も研修参加の機会を確保するとともに、オンライン研修等の活用も含め、職員の専門性の向上に努めていく。
3	保護者への情報発信や説明について、より分かりやすい方法の工夫が必要である。	日常的な情報共有は行っているが、活動内容や取り組みについての情報発信方法が十分に伝わりきれていない可能性がある。	送迎時の情報共有や、LINE、ハグ等の活用を継続するとともに、活動の様子や事業所の取り組みについて、よりわかりやすい情報発信に努めていく。

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・段差あり
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・意見箱あり
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日すぐには難しいが、振り返りはできている</li> <li>・翌日ミーティングなどで情報共有している</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		・必要な連携はとれている。 ・児童館へ行く事はあるが、地域の子どもは少ない	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・事業所と保護者は交流できている ・クリスマス会や講演会などで交流の機会はあるが、その後保護者同士で話す機会を設けるといいのかなと思う。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・地域住民対象行事は以前あった
		45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	